

# 被災者に聞く

東日本大震災の発生後から、被災地で医療支援などに当たっている国際医療ボランティア団体「AMDAグループ」(本部＝岡山市)の菅波茂代表に被災地の現状などを聞いた。

◆ 支援の内容は。

菅波茂代表 震災発生直後、宮城県仙台市の宮城野と南三陸町、岩手県釜石市と大槌町に医療チームを派遣し、避難所での診療や巡回診療を展開した。また、岡山から医

薬品や衛生用品、食料品などを7便のトラックで

菅波 沿岸部の病院や開業医の診療所が大きな被害を受け、

## 被災地医療

診療を行う場所そのものが

なくなくなった。避難所での診療が中心になったが、生活の場と医療の場が一緒になるとプライバシーの確保が難しい。レントゲンや心電図などの設備もなく、医療行為も限られたものになる。また、継続した薬の提供ができ

医療スタッフや必要な物資を運ぶのに大いに活用できた。それまでは

被災者を自治体の臨時職員として採用するなど、生活資金を支給するといった仕組みがあつていいのではないか。

## 生活に配慮した避難所の運営を

菅波 AMDAは岡山県総社市の片岡聡一市長に貸し出しをお願いし、3月19日に「アイ・ミーブ」2台が釜石市に届けられた。1回の充電で170キロの走行が可能で、

ず、糖尿病など生活習慣病の症状を悪化させる人もいた。加えて、もともと医療過疎地域だったため、医師一人の負担も相当、大きかった。

菅波 震災直後、ガソリンが不足した被災地で電気自動車(EV)が活躍

菅波 町内会などの方々が献身的に避難所の世話をしており、感動した。当然、無償のボランティアだ。しかし、被災者は地震発生から3日もたてば、当面の生活資金が必要になってくる。例えば避難所の運営をする

被災直後、ガソリンが不足した被災地で電気自動車(EV)が活躍

菅波 被災者は弱者だ。被災者にさらに負担をかけることは避けるべきだと思う。

菅波 被災者は弱者だ。被災者にさらに負担をかけることは避けるべきだと思う。

AMDAグループ 代表  
NPO法人 アムダ 理事長  
菅波 茂 氏



菅波 被災直後、ガソリンが不足した被災地で電気自動車(EV)が活躍

菅波 被災者は弱者だ。被災者にさらに負担をかけることは避けるべきだと思う。

菅波 被災者は弱者だ。被災者にさらに負担をかけることは避けるべきだと思う。